

会員行の2018年度決算の概要について

〔 2019年6月13日
一般社団法人 第二地方銀行協会 〕

会員行の2018年度決算（単体）の概要は以下のとおり。

※計数は2019年3月末時点の会員行40行ベース（特記ある場合を除く）。

（単位：億円、％）

○損益の状況

	2018年度	前年度比増減	
		増減額	増減率
業務純益	1,730	△ 161	△ 8.5
コア業務純益	1,842	△ 149	△ 7.5
資金利益	7,681	△ 172	△ 2.2
貸出金利息	6,348	△ 117	△ 1.8
有価証券利息配当金	1,636	△ 106	△ 6.1
役務取引等利益	720	△ 4	△ 0.6
国債等債券関係損益	△ 84	38	-
経費(△)	6,621	△ 99	△ 1.5
一般貸倒引当金繰入額(△)	28	50	-
臨時損益	△ 20	△ 302	-
個別貸倒引当金繰入額(△)	261	44	20.3
株式等関係損益	389	△ 121	△ 23.7
貸倒引当金戻入益	24	△ 31	△ 56.4
経常利益	1,709	△ 464	△ 21.4
特別損益	△ 51	0	-
当期純利益	1,241	△ 315	△ 20.2
与信関係費用合計(△)	384	135	54.2

・業務純益:減益

資金利益の減少等により減益。

(資金利益:減益)

貸出金利回の低下による貸出金利息の減少等により減益。

(役務取引等利益:減益)

保険窓販手数料は増加したが、投信窓販手数料の減少により減益。

(経費:減少)

人件費および物件費の減少により減少。

・経常利益、当期純利益:減益

業務純益の減益、株式等関係益の減少を受け減益。

・与信費用:増加

貸倒引当金繰入額の増加により増加。

○預貸金の状況

	2018年度末	前年度末比	
		増減額	増減率
預金	655,115	7,979	1.2
貸出金	521,614	13,823	2.7

○不良債権の状況

	2018年度末	前年度末比	
		増減額/変化幅	増減率
金融再生法開示債権額(A)	9,810	△ 194	△ 1.9
総与信(B)	528,239	14,376	2.8
金融再生法開示債権比率(A/B)	1.85	△ 0.09	

・預金、貸出金

預金、貸出金ともに増加。

・金融再生法開示債権比率

開示債権額の減少により低下。

・単体自己資本比率

リスクアセットの増加により低下。

○単体自己資本比率

	2018年度末	前年度末比	
		増減額/変化幅	増減率
自己資本額	32,783	59	0.2
リスク・アセット合計	362,051	7,882	2.2
自己資本比率	9.05	△ 0.18	

注：国際統一基準行(1行)を除く国内基準の39行ベース。

【本件に関するお問合せ先】

企画部：蓑田、加藤

TEL：03-3262-2509、2534